

## 令和2年度 第10回 昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会場 令和3年1月21日（木）午後7時00分～8時00分 Web会議  
出席者 谷部議長、松本副議長、稲垣委員、指田委員、二ノ宮リム委員、  
信國委員、濱田委員、吉村委員  
近藤牧子 氏（あきしま会議に関するオブザーバーとして参加）  
欠席者 小原委員、齋藤委員  
事務局 川崎社会教育係長、来住野社会教育主事

### 1 開 会

<配付資料>

- 資料1 市民のニーズを活かすつなげるあきしま会議（案）
- 資料2 令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会第7回  
実行委員会次第

- ・月間行事予定表1月
- ・とうきょうの地域教育 NO.141
- ・令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会チラシ
- ・生涯学習サポーター養成講座（第7回）チラシ

#### 議長あいさつ

年が明けて初めての会議となる。新型コロナウイルスの感染者数が大幅に増加し第3波と言われているが、本会議は今回初めてWeb会議システムを使って開催することになった。慣れないところもあるが、今後こうした会議にトライしておくことも大事だ。感染状況によってはこうした形で続けることになると思うので、ご協力をお願いしたい。

### 2 協 議

#### (1) 市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議について（資料1）

開催日時 令和3年2月27日（土）午後1時から4時

開催方法 Web会議システムを使用

質問内容（案）

- ・Before コロナの活動状況と、当時抱えていた課題や今後の計画
- ・コロナ禍での活動状況、メンバーの様子、現在の課題、検討している今後の活動  
それに向けて必要なことなど

※配付資料の説明

※ブレイクアウトルームの体験（1分）

## 【意見まとめ】

### 付箋（よかったところ、もっと聞きたかったところ）の代替案について

- ・チャット機能を使ってはどうか（保存する）
- ・受講者がスムーズに入力できるかどうかの配慮
- ・スマホでは対応しにくい場合があることへの配慮
- ・その部分を確認しておくこと、コメントシートを作成し事前に郵送してはどうか
- ・その場でマーカーを使用して紙に書いてもらい、画面に映してもらってはどうか

### 報告者が予定より少ない場合

- ・オンラインでの話し合いは時間がかかると想定されるので、報告者が少ない場合もグループにわけて1ラウンドにしてはどうか

### グループワークでのファシリテーター向けルール作成について

- ・オンラインでは発言のタイミングなど相互のやり取りが対面よりスムーズにいかないことが多いため、おひとりずつ話してもらうことを2周するなど工夫する
- ・一人ひとりの参加を確保するためのルールとして、ひとり2つずつ質問してくださいなど、話し方のルールを言ってあげるとよい。いつも以上に司会的にやる必要がある
- ・プライベートの確保の問題いろいろなことを想定する必要あり
- ・ファシリテーター自身が呼ばれる可能性もあるので、そのあたりも
- ・グループに分けた際には、マイクをオンでということを入れてほしい
- ・ファシリテーターの事前打ち合わせをした方がよい

### その他

- ・技術的な対応が取れるようにしておく（参加者がインターネットから落ちたときやマイク・カメラのトラブルの際の連絡先）
- ・自由交流の時間は、あまり仕切らない形でやってみてはどうか

委員 失敗することを心配するより、やってみて、次に活かしたい。

委員 コロナ禍の状況を分かち合うことは貴重

議長 事前にわからないことなどあるかと思うが、トライ&エラーでやってみたい。実際に本日の会議もオンラインでやれているので、いろいろな工夫ができるのではないかと思っている。みなさんのご協力をお願いしたい。

## 3 報告

- (1) 令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会第7回実行委員会について (12/21)  
(資料2)

※配付資料の説明

## (2) 令和2年度昭島市成人式について

事務局 1月11日(成人の日)に、午前の部と午後の部の2部制で開催。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、式典は30分に縮小、ご来賓のご臨席も最小限とさせていただきます。入口では検温・消毒、式場内も1部と2部の間で座席等の消毒をするなど対策を徹底した。参加対象者は1,025名、うち、参加者は593名(午前333名、午後260名)だった。都内で成人式を実施したのは1区5市1町だった。

次回

2月22日(月)午後7時より Web会議を予定

3月11日(木)午後7時より Web会議を予定